

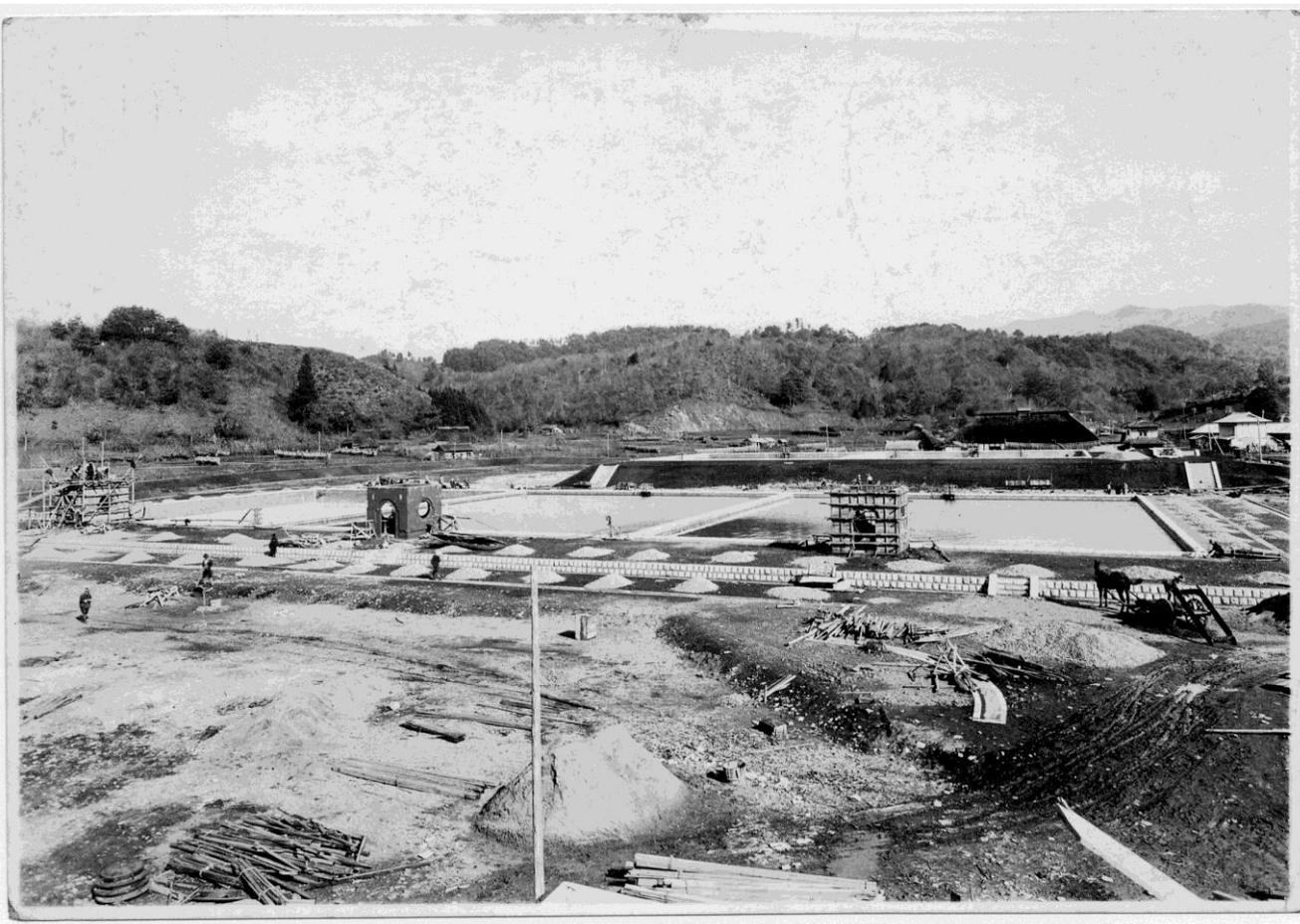
### 取水堰堤(工事中)【昭和8年(1933年)8月25日】

米内浄水場約1キロメートル上流に位置する取水堰堤(しゅすいえんてい)の工事中の米内川の写真です。高さ1.66メートルの堰堤を築いて水を蓄え、口径450ミリメートルの管で、米内浄水場に水を引いていました。この堰堤は現在も、当時と同様に使用しています。

現在の写真



撮影日:令和5年(2023年) 5月2日



現在の写真



### 工事中の米内浄水場

浄水場の南側から、ろ過池方向を撮影した写真です。奥の沈殿池など形が整い、ろ過池調整室の建造をしているのが分かります。

よく見ると、右側に荷馬車が写っています。また、手前の2つのろ過池には水が張っており、完成前の検査を行っていたのかもしれませんがね。

撮影日:令和2年(2020年) 5月5日



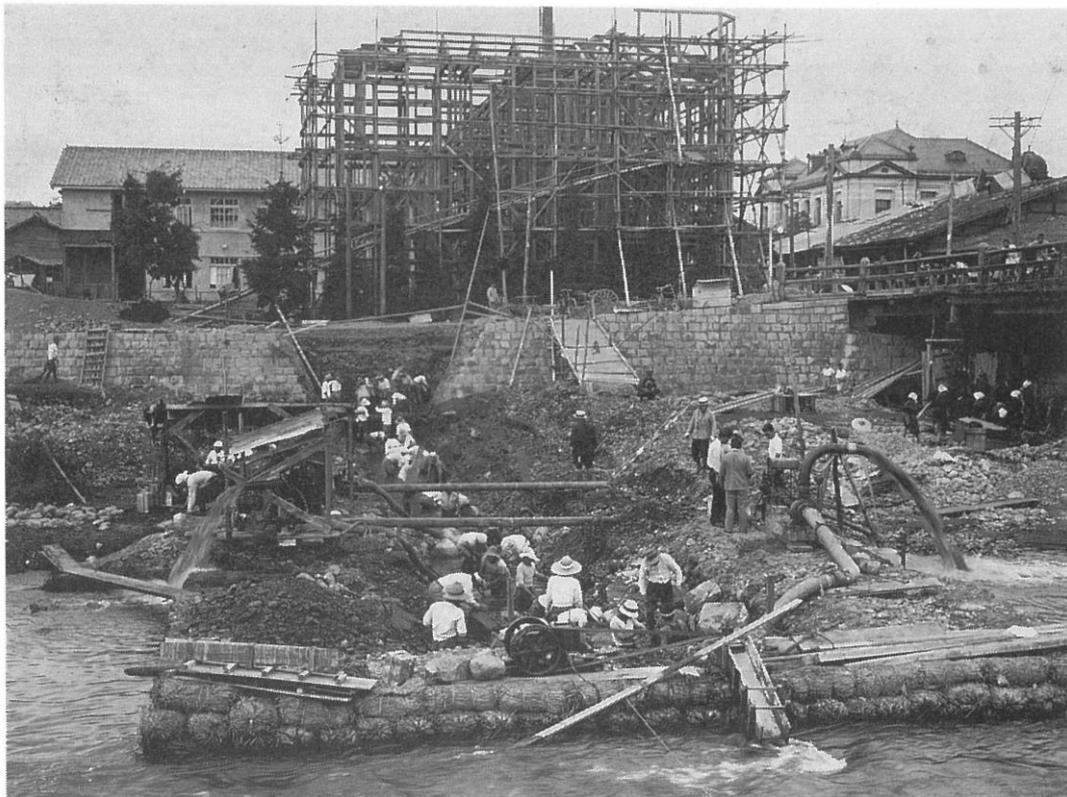
現在の写真



### 工事中の水道橋【昭和9年(1934年)5月】

現在の盛岡市浅岸字橋場地内、米内川と中津川の合流点付近にある橋で、現在も「水道橋」の名前を残しています。当時、水道工事の材料を運ぶためだけに架けられ、新庄配水池まで送水する、口径450ミリメートルの高級铸铁管が取り付けられていました。

撮影日:令和6年(2024年)12月4日



## 配水管 中津川伏せ越し工事(上の橋付近)

配水管の埋設作業は、上の橋(盛岡市上ノ橋町)のそばで、中津川越えの難関に突き当たりました。

上の橋は昔ながらの盛岡の面影をとどめる擬宝珠玉のある橋。その橋に送水管を取り付けたら由緒台無しと、川の中に管を通す伏せ越しをすることになりました。川を半分ずつせき止めて穴を掘るのですが、付近は川の両側が石積みで水の逃げ場がなく、水かさが増して掘った穴が水に埋まってしまうことも多く、難工事であったようです。

現在の写真



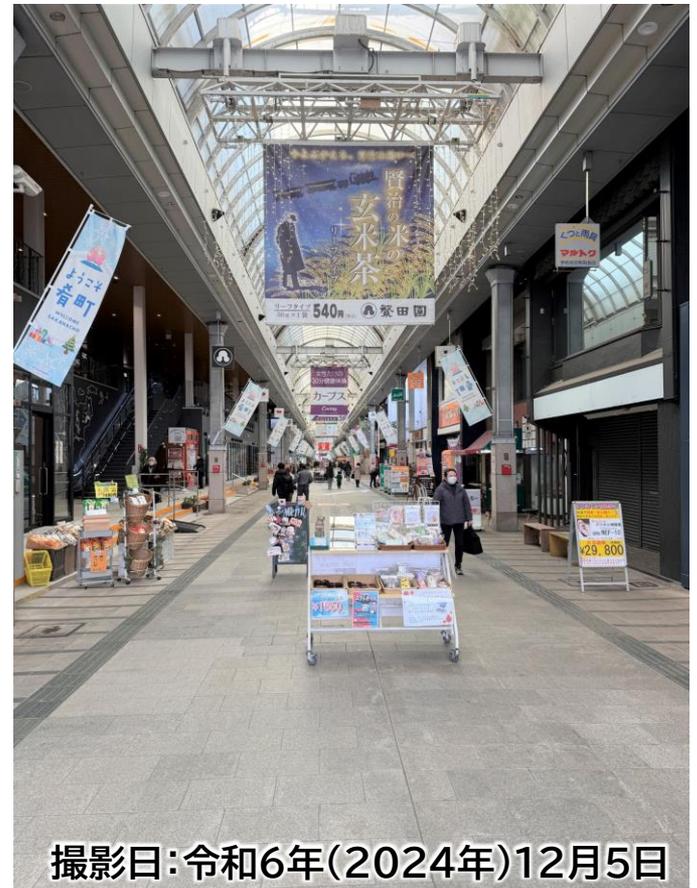
撮影日:令和6年(2024年) 12月1日



**肴町配水管工事【昭和9年(1934年)4月9日】**

現在の盛岡市肴町アーケード付近の写真です。  
工事中、商店街は開店休業の状態でした。

**現在の写真**



撮影日: 令和6年(2024年)12月5日